

基本方針

～どのように取り組んでいくべきか～

暮らし

地域特性に応じた
拠点のまちづくり
を支える

- 日常生活を支える各拠点の特性に合わせ、地域の魅力を引き出します。
- 多様な商業・業務機能、行政機能などの各種都市サービス機能を支援します。

拠点まちづくり支援
パッケージ



活力

道都さっぽろの顔となる
都心まちづくり
を支える

- 通過するだけの unnecessary 自動車利用を抑制し、人を中心とした安心・安全な都心交通環境を創出します。
- 北海道経済を牽引し、その機能を持続・発展させる市民活動・経済活動を支援します。
- 外国人などを含む多様な来訪者に対応します。
- さっぽろの魅力をより一層楽しんでもらえるよう都市観光を支援します。

都心まちづくり支援
パッケージ



さっぽろの
都市観光
を支える

観光促進
パッケージ



圏域連携のための
広域交通
を強化する

- 広域的な拠点間の連携強化を図り、都市の活力を向上させます。

広域連携
パッケージ



環境

交通システムの充実により
環境首都・札幌
の実現を支える

- 公共交通の利用促進や自動車利用の適正化を図ります。
- 交通の円滑性や乗継利便性等を向上させます。

環境負荷低減促進
パッケージ



札幌市の『交通体系』

これまでの交通体系の整備

人口増加に伴う交通需要に対応するため、地下鉄を基軸として、道路ネットワークが都市圏内を有機的に結ぶ交通体系の整備を進めてきました。その結果、交通基盤の骨格構造は、これからの都市活動を支えるうえで、大幅な拡充は要しない水準に達しています。

今後の交通体系の基本的な考え方

公共交通	“公共交通に対する意識の醸成”や、利用者の利便性向上等の“質的レベルアップ”を図ります。
自動車利用	必要な道路の整備や、かしこい自動車利用などにより、“適切な自動車交通”を実現します。
広域的交通	広域的な交通にかかわる“安定的で利用しやすいネットワークの確立”を図ります。
都心交通	歩行者が安心・安全に移動、集うことができる空間形成、既存公共交通の有効活用、都心を通過する交通の排除などにより、“都心の活性化に寄与する都心交通”を目指します。

